

2024 年度研修コース案内

1. 概要

研修コース名	PB (Problem Based) 研修
期間 (回数)	全 6 回。例会以外に自主ミーティングを行うことも可能です。
曜日・時間	金曜 13:30～15:30 講演がある回は 13:00～16:00 (途中休憩含む) 【第 1 回】 5 月 【第 2 回】 6 月 【第 3 回】 7 月 【第 4 回】 8・9 月頃 【第 5 回】 10 月 【第 6 回】 11 月
募集定員	25 名 (最少催行人数 5 名)
担当者	高野 真理子 (大学図書館支援機構), 外部講師 (1～2 回)

2. 詳細

目的	各大学図書館で抱える問題や、より良いサービスに向けた課題を参加者 (受講者) 間で共有し、参考になる知見を集め、解決に向けたアイデアを出し合う機会を提供する課題解決型 (Problem Based) の研修です。国大図協シンポジウム「オープンサイエンス時代の大学図書館員像」2023.12.12 の講演「海外で求められる大学図書館員像の実際」の中で、採用基準に“課題解決能力”があがっているという分析がありました。日本においても DX 時代に求められる大学図書館員の資質として、課題の解決に向けた対応力を養うことが重要になるだろうと思われます。個人のスキルアップと併せて、他大学と情報を共有し、課題解決を通して図書館員同士の連携を深めることを目的とします。
内容	2024 年度は課題として「資料管理」を取り上げます。 資料の利用 vs 保存は図書館の永遠の課題であり、喫緊の課題でもあります。書架の狭隘化、電子資料への移行と冊子体資料の保管・廃棄問題、資料廃棄の選定基準、スペースの有効活用や収蔵方法の工夫、デポジットライブラリの可能性、温暖化や災害によるカビの発生と資料保存、等々さまざまなアプローチからこの課題に迫っていきましょう。 また、論理的な課題解決に必要な状況分析のスキルを身につけます。今年度は専門家による Excel を用いた利用統計分析活用の講義と実習、有識者から実際の事例経験をご講演いただくことも計画します。
実施形態	オンライン形式
研修報告大会	12 月 13 日 (金) 午後に開催 (登壇者を研修内で募ります)

3. 受講条件

資格・経験等	上記内容に興味・関心がある方、経験は問いません。図書館経営の側面もありますので、管理職の方の参加も歓迎します。
環境等	Zoom によるオンラインミーティングが可能な環境